



2024年4月15日

各 位

会 社 名 日本製鉄株式会社  
代表者名 代表取締役社長 兼 C O O 今井 正  
(コード番号 5401 東証プライム、名証、福証、札証)  
問合せ先 総務部広報センター  
(TEL. 03-6867-2977、2135、2146、3419)

(開示事項の経過) 米国 United States Steel Corporation の買収について

当社は標記について、2024年4月13日に当社ウェブサイトにて公表いたしました。  
詳細は次項をご参照ください。

以 上

## US スチールの買収が同社臨時株主総会にて承認

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）による United States Steel Corporation（以下、US スチール）の買収（以下、本買収）は、2024年4月12日（現地時間）に開催された US スチールの臨時株主総会において承認されました。

日本製鉄は、本買収により US スチールを支え、成長させることが、お客様、従業員、労働組合員、サプライヤー、地域コミュニティ、株主などのステークホルダー、さらには米国鉄鋼産業および、米国全体に多大なる利益をもたらすことを確信しています。今回の臨時株主総会における買収承認により、この目標に向かって確実な一歩を踏み出したこととなります。

日本製鉄代表取締役副会長の森高弘は、臨時株主総会の結果について、次のように述べています。「本買収の承認に対して、思慮深いご判断とご支持をいただいた US スチールの株主の皆様には、感謝申し上げます。これにより、買収完了に向けた大きな一歩が踏み出されたことは、大変喜ばしいことと思っています。私たちの目指すものは、当初から一貫して明確であり、設備投資の拡大や先進技術の提供を通じて、関係するすべてのステークホルダーの利益のために、米国市場において、US スチールを支え、成長させることです。US スチールとともに、「総合力世界 No1 の鉄鋼メーカー」として、前進することを楽しみにしています。」



※詳細は、ジョイントウェブサイトをご覧ください（英文）：[www.BestDealForAmericanSteel.com](http://www.BestDealForAmericanSteel.com)

US スチールの株主の皆様が、同社が何世代にも亘って米国の象徴的な企業であり続けるためのベストパートナーが日本製鉄であると判断されたことに対する信頼と責任に応えるべく、日本製鉄は US スチールと協力し、お客様の進化するニーズを満たすために必要な優れた実力と革新性を備えた「総合力世界 No1 の鉄鋼メーカー」を目指します。

この目標を達成するため、日本製鉄は、以下の施策の実行を約束します。

### **1. 先進技術の提供を通じて US スチールを支え、成長させる**

本買収完了後、US スチールは、日本製鉄の完全子会社となり、日本製鉄の製品技術、操業技術、設備技術、脱炭素化に関する技術や研究開発にアクセスすることが可能となります。

日本製鉄は、US スチールへの投資の拡大と先進技術の提供を通じて、米国において鉄鋼製品を必要とされるお客様へ、より高品質で競争力ある製品やサービスを提供することにより、米国の優位性を高め、同時に米国のサプライチェーンと中国に対する経済安全保障を強化します。

### **2. あらゆるステークホルダーとの強い関係の構築**

US スチールの従業員は、米国および世界で事業を行う上でとても大切な存在です。本買収完了後も、US スチールの社名、ブランド、ピッツバーグにある本社は変わることがありません。日本製鉄は、全米鉄鋼労働組合 (USW) と協力し、労働組合員の利益に貢献することを約束しています。雇用や生産の海外移転は行いません。日本製鉄は、US スチールのサプライヤーやお客様との緊密な関係を維持・発展させるとともに、地域社会の一員として積極的な貢献をいたします。

### **3. USW との重要かつ拘束力のある約束：レイオフなし、追加の設備投資や技術共有など**

日本製鉄は、USW を含む労働組合との関係や職場の安全について、長年に亘り良好な実績があります。日本製鉄は、US スチールが USW との間で締結している労働協約 (BLA) を含む US スチールと労働組合員との間のあらゆる契約を守ります。また、日本製鉄は USW を USW が代表する従業員の交渉代表者であることを認め、BLA に基づくすべての条項を確実に遵守し続ける意欲とそれを支える資力があることを保証し、既存の US スチールと USW の間のすべての契約を引き受けることに同意することにより、これまでの関係を変えることなく維持することを約束しました。

日本製鉄は 2024 年 3 月 27 日に USW に宛てたレターを送り、本買収によるレイオフや工場閉鎖がないことを改めて表明し、雇用の確保、年金の保障、設備投資、技術の共有、財務報告の提供などの特に重要な事項についての約束を表明しました。これらの約束には、BLA が対象としている拠点への 2024 年から 2026 年まで、少なくとも 14 億ドルの追加投資と、BLA 上の義務およびこれらの約束に対する日本製鉄の保証が含まれています。

これらの約束事項は、USW と US スチールとの間の現在の BLA に定める内容を上回るものです。

#### 4. 脱炭素と持続可能な社会の実現に向けて世界の鉄鋼業をリードする

日本製鉄とUSスチールは、カーボン・ニュートラルを実現するという共通の目標を掲げており、持続可能な社会の実現こそが、鉄鋼メーカーの存在価値と成長の基本的な柱であると認識しています。本買収完了後、この目標に向けた対応を引き続き推進し、脱炭素化の革新技術の開発において協働してまいります。日本製鉄は、「高炉水素還元」「水素による還元鉄製造」「大型電炉での高級鋼製造」という3つのカーボン・ニュートラルに向けた超革新的な技術の開発を進めており、必要に応じUSスチールに導入する予定です。日本製鉄とUSスチールは、持続可能な社会の実現に向けて、無方向性電磁鋼板や自動車用鋼板など日本製鉄の最先端技術を融合することで、シナジーと企業価値の最大化を実現させます。

日本製鉄は、USW、政府機関、地域コミュニティなどの関係するステークホルダーとの対話を通じて、強い決意のもと本買収を完了させます。

※本買収に関する詳細は2023年12月18日公表の資料を参照ください。

[https://www.nipponsteel.com/common/secure/ir/library/pdf/20231218\\_100.pdf](https://www.nipponsteel.com/common/secure/ir/library/pdf/20231218_100.pdf)

以 上

お問い合わせ先 : 総務部広報センター 電話 03-6867-2977、2135、2146、3419